

区分	施設名	施設概要		機能・複合・諸室	特質点など
PFI事業	静岡県清水文化会館 マリナート	所在地	静岡県静岡市	大ホール(1,513席)、小ホール(292席) リハーサル室、練習室2室 ギャラリー、カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・設計、建設、維持管理、運営を事業範囲とするPFI方式により、施設を整備。 ・設計段階において、運営事業者が参加しており、主にバックヤードや客入れ前待機動線には、運営事業者の意見が反映されている。 ・施設の維持管理・運営業務については、指定管理制度を導入し、利用料金制を採用。 ・敷地の制約から、ロータリーに大型バスが入庫できないなど、ロビー開場前のスペースが少ないことが課題となっているが、静岡市経済局商工部清水湾振興課と連携し、同課の管理地を臨時駐車場として利用している。 ・音楽と演劇にそれぞれ専門家をアドバイザーに起用している。 ・フランチャイズオーケストラとして非特定営利活動法人静岡交響楽団を起用している。
		開館	平成24年8月		
		設置者	静岡市		
		運営	清水文化事業サポート(株)		
		敷地面積	7,720.80㎡		
		延床面積	1,1535.72㎡		
	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT	所在地	愛知県豊橋市	主ホール(778席)、アートスペース(266席) 創造活動室7室、研修室(大・小)、製作工房 交流スクエア、カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・設計、建設、維持管理を事業範囲とするPFI方式により、施設を整備(大規模修繕や運営は除く)。 ・主ホールは、演劇用ホールとして高度な演出にも対応可能な最新の舞台設備機構を有している。 ・最初の指定管理期間は3年とし、実績の予測が難しいこともあり、使用料方式とした。その利用実績をふまえて、今年度から利用料金制に移行した。 ・サブホールにあたるアートスペースは、映画の上映会などにも対応し、ジャズなどの利用、企業利用(研修や表彰)、ワークショップ、学会利用など、非常に多目的に使い勝手が良い。 ・市民ミュージカルに取り組んでいる。2年目以降は市民が関わり、地元人材の育成できるような企画を増やしており、高校生中心と市民の2本立てで実施。
		開館	平成25年4月		
		設置者	豊橋市		
		運営	(公財)豊橋文化振興財団		
		敷地面積	7,612.80㎡		
		延床面積	8,036.59㎡		
ホール 運営	豊島区舞台芸術交流センター あうるすぽっと	所在地	東京都豊島区	ホール(300席) 会議室3室 カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島区舞台芸術交流センター(2・3階)、豊島区立中央図書館(4・5階)、民間施設(オフィス、6～15階)の区分所有ビル。廊下・トイレ等は、区分所有ビルの共用部分となっており使いづらい面がある。 ・施設として、練習場を有しておらず、練習・稽古は、区の地域創造館、廃校になった旧朝日中学校の校舎と体育館を利用している。 ・指定管理者制度(財団)。他の公共劇場、劇団等で経験を積んだスタッフで企画立案している。催事によって、アーティスト、劇団、制作会社等と連携している。 ・大学生・大学院生等を対象にインターンシップを実施(9ヶ月間)。公共劇場や舞台芸術に関する専門講座を開催。
		開館	平成19年9月		
		設置者	豊島区		
		運営	(公財)としま未来文化財団		
		敷地面積	不明		
		延床面積	2,931㎡		
	aLa 可児市文化創造センター	所在地	岐阜県可児市	主劇場(1,019席)、小劇場(311席) 美術ロフト、演劇ロフト、音楽ロフト 演劇練習室、音楽練習室3室、木作業室 レセプション・ホール(150人) ワークショップ・ルーム(和・洋) ギャラリー、映像シアター(100人) 研修室、印刷室 レストラン、キッズルーム、情報コーナー 水と緑の広場	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽、演劇、美術利用に適した各ロフトは、日常の活動場所として広く利用されている。 ・日本を代表する「文学座」「新日本フィルハーモニー交響楽団」と地域拠点契約を結び、公演のほか、ワークショップや学校・福祉施設などに出向いたアウトリーチ活動を実施。 ・「私のあしながおじさんプロジェクト」により、地元企業・団体・個人が公演チケットを寄附金という形で購入し、地域の子どもたちへ鑑賞機会を提供。 ・このほか、「社会貢献型マーケティング」のを掲げ、高校へのコミュニケーション・ワークショップなどを実施し、施設が持つ価値観に共感してもらえることを目指している。 ・「alaクルーズ」という市民ボランティア団体がフロントスタッフ事業(主催事業時のチケットもぎり等)、自主事業の企画運営、広報紙の発行等を実施。
		開館	平成14年7月		
		設置者	可児市		
		運営	(公財)可児市文化芸術振興財団		
		敷地面積	33,689.55㎡		
		延床面積	18,414.78㎡		
新潟市民芸術会館 りゅーとびあ	所在地	新潟県新潟市	コンサートホール(最大2,000人) 劇場(最大903人)、能楽堂(最大387人) スタジオA・B、練習室6室、ギャラリー レストラン、カフェ、展望ラウンジ インフォメーション・ショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和59年12月に基本構想を議会で議決、平成10年開館。 ・新潟において盛んな能に対応し能楽堂を設置。 ・音楽、演劇(能楽を含む)、舞踊の各部門で芸術監督のもと、事業企画を立案、自主事業を実施。 ・東京交響楽団と準フランチャイズ契約を結び、年6回の定期公演や小学校訪問を実施。 ・国内唯一の公共劇場専属舞踊団となるNoismを抱え、幅広い世代に親しまれている。 ・オーディションにより市内及び近郊在住の音楽家3組を登録アーティストとして選出し、専門家とのオリジナルプログラムを開発して、小学校、病院、福祉施設等でアウトリーチを実施。 ・新潟市ジュニアオーケストラ教室、「新潟市ジュニア合唱団」、「新潟市ジュニア邦楽合奏教室」、「演劇スタジオキッズコースAPRICOT」を運営し、育成活動を展開。 	
	開館	平成10年10月			
	設置者	新潟市			
	運営	(公財)新潟市芸術文化振興財団			
	敷地面積	140,143.8㎡			
	延床面積	25,099.9㎡			

区分	施設名	施設概要		機能・複合・諸室	特質点など
複合施設	札幌市民交流プラザ	所在地	北海道札幌市	<札幌文化芸術交流センター> オープンスタジオ、ワークスタジオA・B プロジェクトルームA・B、クリエイティブモール <札幌文化芸術劇場> 劇場(2,300席) 大練習室、中練習室2室、小練習室3室 <その他> 札幌市図書・情報館 サービス施設(カフェ・レストラン・託児室など)	・札幌創世1.1.1区北1西1地区の第一種市街地再開発事業により、オフィスや放送局との複合施設として整備中。 ・劇場(ホール)の催し物がない場合でも、施設を整備する地域に日常的に賑わいを創出するため、1階・2階に図書・情報館と文化芸術センター(レストラン・カフェを含む。)を整備している。 ・3階の大練習室は、多様な事業に対応できるよう、劇場の主舞台と同規模とし、一体的に利用できるよう整備している。 ・主催事業は、原則としては財団が企画内容を検討するが、地元を中心とする各分野の専門家に在京の専門家を加えた企画専門委員会の意見を踏まえたくえで決定している。
		開館	平成30年10月(予定)		
		設置者	札幌市		
		運営	(公財)札幌市芸術文化財団		
		敷地面積	11,676㎡		
		延床面積	37,332㎡		
	わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)	所在地	北海道札幌市	大ホール(1,500席) 会議室6室 カフェ コンビニ	・耐震性の問題から旧施設の代替施設として、短期間かつ低廉を目的にリース方式により整備。 ・整備費を削減するため、旧ホール施設の移設可能な備品等を活用(リース事業者が無償貸与)したが、恒久施設として利用することが決まったため、今後更新コストがかかることが想定されている。 ・市が企画する自主事業はないが、指定管理者による貸館施設を利用した自主事業は、今年度7回の実施を予定。 ・平成27年度よりネーミングライツを導入しており、年間1,000万円が市に入る仕組み。 ・事業敷地は地下鉄駅出口から近く、利便性の高い立地のため、周辺の有料駐車場を利用してもらうこととし、来場者駐車場は設置しないこととした。
		開館	平成20年12月		
		設置者	札幌市		
		運営	大和リース(株)		
		敷地面積	1794.31㎡		
		延床面積	5947.28㎡		
東海市芸術劇場	所在地	愛知県東海市	大ホール(1,025席)、リハーサル室 多目的ホール、ワークショップ室、会議室 大練習室、中練習室2室、小練習室、和室、美術室、ギャラリー2室 ミーティング室2室、パフォーマンス室、バンドスタジオ2室、キッズルーム アートライブラリー、エントランスプロムナード 交流広場、囀鳴広場、創造広場	・東海太田川駅西地区市街地再開発事業により整備(区分所有)し、店舗やマンションとの複合化。 ・施設の3階・4階・5階に大ホールが設置されており、東海市が直営で運営している。 ・施設整備の計画段階から市民参加を取り入れた。開館後は市民スタッフとして、イベントのサポート、研修やコンサートでのレセプション、劇場内のにぎわいづくりのためミニイベントを立案・実施。 ・東海ひとづくりパートナーシップ協定を、名古屋フィルハーモニー交響楽団とよしもとクリエイティブエージェンシーと結び、小学校や公民館への訪問を実施。 ・事業展開・施設の運営の専門家を芸術総監督として招聘。平成28年度からは市の正規職員(次長職)。芸術総監督が企画立案をしている。 ・パフォーマンス室はダンスの練習ができる環境にあり、1時間単位で借りることができ使用料	
	開館	平成27年10月			
	設置者	東海市			
	運営	東海市			
	敷地面積	6,976.36㎡			
	延床面積	13,669.89㎡			
長岡市シティホールプラザアオーレ長岡	所在地	新潟県長岡市	長岡市役所本庁舎、市議会会議場 アリーナ(最大5,000人) ナカドマ 市民交流ホール4室 市民協働センター シアター、ホワイエ 多目的室3室、会議室3室 コンビニエンスストア、福祉カフェ、モスバーガー	・長岡駅に直結し、市役所機能、アリーナ機能、交流スペース、市民協働センター機能等が一体化した複合施設。 ・屋根付き広場「ナカドマ」は、24時間開放されたスペースで警備員が常駐。NPO法人ながおか未来創造ネットワークが企画・運営を行う。施設のイベントのほとんどは民間事業で、自主事業・行政イベントは全体の1割程度。 ・各市民交流ホールは多目的利用が可能。ホールAは電動固定席(153席)を備えているため、ホールB・Cで練習し、ホールAで発表という流れがある。 ・バスケットボールチーム「アルビレックス長岡」の本拠地であり公開練習が行われていた。すぐ隣で高校生が練習しており、プロチームと非常に身近な環境を形成。 ・イベント開催時の音が市役所窓口でのやり取りに影響することが課題。	
	開館	平成24年4月			
	設置者	長岡市			
	運営	NPO法人ながおか未来創造ネットワーク(運営のみ)			
	敷地面積	14,938.81㎡			
	延床面積	35,485.08㎡			
サントミュージゼ	所在地	長野県上田市	大ホール(最大1,650人)、小ホール(最大372人) 大スタジオ、中スタジオ、スタジオ4室 多目的ルーム、会議室、和室 常設展示室、企画展示室 市民アトリエ・ギャラリー、 アートライブラリー(ミュージアムショップ) アトリエ、子どもアトリエ カフェ、中庭(お絵かき広場)	・H14.7に日本たばこ産業(JT)工場が廃止、その後、跡地(19ha)の再開発によりH26.10に開館。 ・上田市交流文化芸術センター(ホール)と上田市立美術館から成る複合施設。 ・ホールと美術館で連携した企画(展示室での演劇や、演奏と絵画制作のライブペインティング等)を実施。条例上は別組織だが、館長による統率のもと一体的に運営。 ・年間3~4組のレジデントアーティストを選定し、小学校でのクラスワークショップや公民館でのコンサート、高校生を巻き込んだ作品づくりなどが実施されている。 ・企業等によるパートナー制度を導入し、施設の理念に賛同する企業を対象に、50~100万円単位で寄付金を募る予定。 ・複合施設として、ホールと美術館とで改修費をどのように負担及び分配するかが課題。	
	開館	平成26年10月			
	設置者	上田市			
	運営	上田市			
	敷地面積	45,469㎡			
	延床面積	17,620㎡			

区分	施設名	施設概要		機能・複合・諸室	特質点など
創造拠点	トーキョーワンダーサイト	所在地	東京都文京区	本郷(左記)、渋谷(渋谷区)、レジデンス(墨田区)、オフィス(東京都現代美術館内)の4箇所構成。 ○本郷 延床面積484.72㎡ 展示室3室、交流室 ○渋谷 延床面積367.78㎡ 展示室4室、 ○レジデンス 延床面積758.56㎡ 民間賃貸マンション 宿泊室12室、スタジオ、ライブラリー、交流室	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリーでの展示、音楽、パフォーマンスを通じて、若手アーティストの発掘・育成、情報発信を実践。 ・レジデンスは、現在は海外のアーティスト等のクリエイターが滞在し(年間延50~60名)、ラボとしてリサーチや制作活動を実施するとともに、イベント、トーク、ワークショップ、制作活動を一般に公開するオープン・スタジオを開催し、一般の方との交流機会を創出。 ・アーティストは、公募又は指名・推薦による。公募の場合は、支援金として国内アーティストに20万円、海外アーティストに30万円を支給。 ・都から財団への補助事業として実施。本郷・渋谷は、都の普通財産を財団に貸付け(事務室は有償で、ギャラリー等は無償)。レジデンスは、財団による民間賃貸住宅を借り上げ。
		開館	平成13年12月		
		設置者	東京都		
		運営	(公財)東京都歴史文化財団		
		敷地面積	不明		
		延床面積	484.72㎡		
	ヨコハマ創造都市センター	所在地	神奈川県横浜市	3階: イベントホール(200名)、ファブラボ(工房) 2階: ワーキングスペース(シェアオフィス) 1階: ギャラリー(200名)、カフェ 地下1階: イベントホール(50名)	<ul style="list-style-type: none"> ・YCCが施設を無償で借り運営。人件費や初期投資費用を運営者側で負担する代わりに、運営者が裁量を広く持って事業を展開。 ・ファブラボを設置し、市民の創作活動を支援。 ・コワーキングスペースを設置し、分野間の交流により、新たな仕事の創出につながるよう配慮。 ・1階のカフェを展示会開催時にはギャラリーとして活用し、集客と稼働率向上を図っている。 ・本施設における他事業で稼いだ収益を原資に展示会を開催。 ・歴史的な建築を生かして、ドラマ等の撮影によるレンタルスペースの利用料収入を拡大。
		開館	平成27年(リニューアル)		
		設置者	横浜市		
運営		特定非営利活動法人YCC			
敷地面積		不明			
延床面積		2064.45㎡			
山口情報芸術センター(YCAM)	所在地	山口県山口市	<山口情報芸術センター> スタジオA(固定450席/立ち見800名) スタジオB(仮設100~200席) スタジオC(固定100席) ホワイエ: 展示場、レクチャー会場、舞台・座席等多目的室(会議室)、ラボ(interLab)、ワークスペース、キッズスペース <中央図書館> 収容能力39万冊(蔵書数38万冊)	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展示、音楽・演劇・映画鑑賞の用途特性に合わせ、かつフレキシブルな活用が可能な「スタジオA・B・C」と「ラボ」で構成。 ・指定管理者制度(:財団)。財団は、キュレーター、エドゥケーター、エンジニア、デザイナーなど様々なスキルを有するスタッフ(約20名:非常勤5年)を雇用。 ・「YCAMインターラボ」(研究開発機能)は、「制作ラボ」、「教育ラボ」、「地域開発ラボ」で構成。「制作ラボ」はアーティストたちによる制作(インスタレーション、ダンス/演劇、映像作品等)を幅広い形態で実現するための研究開発を、「教育ラボ」は“学び”に関する研究開発を、「地域開発ラボ」は地域の課題や地域資源に関する研究開発を行っている。 ・研究の成果を企業に提供したり、教育現場で活用するなどして地域に還元している。 	
	開館	平成15年11月			
	設置者	山口市			
	運営	(公財)山口市文化振興財団			
	敷地面積	14,526㎡			
	延床面積	14,807.54㎡			
資産活用	豊島区役所新庁舎	所在地	東京都豊島区	11階~: マンション部分 3~10階: 庁舎部分 ・10階 豊島の森 ・8階・9階 区議会ゾーン ・6階・7階 事務室ゾーン ・5階 災害対策ゾーン ・3階・4階 窓口サービスゾーン 1~2階: エントランス、区民交流ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・全国初となるマンション一体型の庁舎として、新庁舎を開設。 ・南池袋式丁目A地区第一種市街地再開発事業にて整備を実施。 ・区所有の土地・建物が再開発後の施設の床に権利交換され、庁舎に必要な占有面積の一部を無償で取得。 ・不足する床については、区が再開発組合より保留床を買い入れたが、この資金は、旧庁舎敷地等を定期借地で民間事業者者に有償貸付することで捻出。 ・庁舎部分と民間施設部分(EVや各種配管、非常用階段等)は、原則として分離して整備している。
		開館	平成27年5月		
		設置者	豊島区		
		運営	豊島区		
		敷地面積	8,324.91㎡		
		延床面積	94,681.87㎡		